

あけましておめでとうございます。

皆様には、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は、市行政にひとかたならぬご理解とご協力をいただきありがとうございました。

昨年11月に就任し2か月が経とうとしております。12月議会定例会の所信表明でもお伝えしましたが、「湖南市良いところ。子育てするなら湖南市で。老後は湖南市で。」をスローガンに掲げつつ、財源の確保に努めながら子育て施策の強化、安心安全のまちづくり、インフラ整備として石部駅周辺整備事業の工事着工や国道1号の4車線化の早期実現など、本年も取り組みに邁進していききたいと思っております。

ご意見を聞きながら、早急に再生できるような力を入れていきたいと思っております。何卒ご協力をお願いいたします。

今年が丑年です。牛は古くから農業や酪農に欠かせない存在で、大変な農作業などを最後まで勤勉に粘り強く手伝ってくれる存在でした。そんな牛の様子が「誠実さ」を象徴しているとされ、丑年は、子年に蒔いた種が芽を出し成長していく時期で、「耐える」や「発展の前の年」と言われているそうです。湖南市としても昨年から続くコロナ禍により、収入の減少は避けられない我慢の年になるでしょう。牛のごとく粘り強く、未来を見据えて掲げた目標を一つひとつ達成できるよう皆様のご協力をいただきながら市政を進めていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



湖南市長 生田 邦夫

謹賀新年 令和3年 年頭のごあいさつ

あけましておめでとうございます。

市民の皆様には、すがすがしい新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

平素より、湖南市議会の活動に対しましては、さまざまな場面でご指導とご協力を頂き、誠にありがとうございます。

さて、長い新型コロナウイルス感染症との戦いの中で、何事においても、Withコロナの生活様式に配慮しなければならぬ日々が続いています。あらゆる分野に影響が現れ、市の今後の財政状況の悪化も心配されています。二元代表制の一翼を担う議会としまして、議員全員が力を合わせて、その機能を十分に発揮することにより、この状況を打開していく決意でございます。

令和2年をあらわす漢字は



湖南市議会議員 植中 都

「密」でした。

昨年10月、「ずっとここに暮したいと思える地域づくり」をめざして開催された、地域まちづくりフォーラムでは、「若者が望むまちへの想い」と題したパネルディスカッションに、甲西高校・石部高校から6人の生徒が参加され、活発な課題提起と提言がなされました。最後に「これからの湖南市をあらわす漢字」として、一人ひとり、それぞれ「和」「希」「協」「笑」「加」「交」が示され、高校生の鋭い視点と感性に感心しました。

これらの漢字には、人によってさまざまな意味の受け取り方があると思います。コロナ収束が見とおせない中ではありますが、令和3年はこれらの漢字の指し示すような明るい年にしてまいりましょう！